

平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 新道寺 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
本市	16.69	20.49	33.79	42.59	55.22	9.38	154.29	23.74	55.23

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
本市	16.24	19.41	37.96	40.62	44.39	9.61	147.43	13.93	56.64

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「運動が好き、やや好き。」な児童は92%を超えている。「嫌い」とした児童はいない。 ○ 「体育の授業は楽しい、やや楽しい。」についても、92%を超えている。「楽しくない」とした児童はいない。 ○ 「体力・運動能力に自信がある、ややある」児童の割合は、全国より低い傾向にある。 ○ 登校方法で、「徒歩」の児童の割合が低く、「自家用車等」とした児童は全国の3倍以上いる。 ○ 「体育の時間にたくさん運動する」と答えた児童の割合が、全国に比べて低い。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<ul style="list-style-type: none"> ① 準備体操では「ジャンプアップ運動」等を取り入れ、体温を高めて主運動につなげる。 ② 1人1人の運動時間を確保して運動量を増やし、体力の向上を目指す。 ③ 「めあて」と「振り返り」を行い、体育授業の充実を図る。 ④ 話し合う活動を適宜取り入れ、児童が学び合う授業づくりをめざす。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎日の生活の中での外遊びの励行、徒歩登校の奨励。 ○ 縦割り活動での「遊びの日」等の取組により、運動する楽しさを味わわせる。 ○ 1校1取組で、「なわとび」と「持久走」の取組を隔年で進め、体力向上を目指す。 ○ 学校行事「平尾台ウォーキング」に向けての「平尾台へGO！」(平尾台までの距離を運動場で走る)の取組の推進。
--